

第5学年英語科学習指導案



平成 28 年 10 月 28 日 (金) 5 校時
武蔵村山市立第三小学校
第 5 学年 2 組 31 名
教 諭 松 元 晃
英語活動支援員 モリオカ ひとみ

研究主題

「人との関わりを大切にし、豊かに表現できる児童の育成」
～グローバル人材育成に向けたオリンピック・パラリンピック教育の充実～

1 教材名「What would you like?」(Hi, friends! Lesson9)

2 単元の目標

- ・欲しいものについて丁寧に積極的に尋ねたり答えたりしようとする。
- ・世界の料理に興味をもち、欲しいものを尋ねたり言ったりする際、丁寧な表現があることに気付く。
- ・欲しいものについての丁寧な表現の仕方や尋ね方を理解し、使おうとする。

3 単元の評価規準

コミュニケーションへの 関心・意欲・態度	言語や文化に関する気付き	外国語の音声などへの理解
・友達とやりとりしながら積極的にゲームに参加している。 ・丁寧な表現を用いてコミュニケーションを図る楽しさを味わう。	・世界の料理に興味をもち、食文化の違いに気付く。 ・欲しいものを尋ねたり言ったりする際に、丁寧な表現があることに気付く。	・ゲームや歌を通して、リズムに合わせて発音、発話している。 ・欲しいものについて、丁寧な言い方で聞いたり話したりする表現を理解し、使おうとしている。

4 指導にあたって

(1) 単元について

本単元は、小学校学習指導要領外国語活動第5学年および第6学年の内容の(1)「外国語を用いてコミュニケーションを図る楽しさを体験すること」と(2)「積極的に外国語を聞いたり、話したりすること」、内容2の(1)「外国語の音声やリズムなどに慣れ親しむとともに、日本語との違いを知り、言葉の面白さや豊かさに気付くこと」を受けて設定されている。

本単元では、日本語に敬語があるように、英語でもより丁寧な言い方があることを理解させ、丁寧な表現を使っているいろいろな相手と積極的にコミュニケーションを図ることを主なねらいとする。そのために、体験的な活動として、「レストランで料理を注文する」という場面を作る。主な言語材料としては、スパゲッティやピザなど普段から言い慣れている外来語を多く扱うため、児童にとっては身近で取り組みやすい内容である。

今まで学習してきた、「自分の意見を一方的に伝えたり、相手の思いをただ聞き取ったりすること」だけの活動をもとに、より相手を意識し、相手を受け入れ互いに思いやったコミュニケーションを意識した活動が展開できると考え、本単元を設定した。

(2) 児童について

本学級の児童は、英語の学習活動に積極的に取り組んでいる。英語活動についての調査結果、ほとんどの児童が英語の授業を好きだと感じ、英語が使えるようになりたいと思っている。普通の授業では、

英語で歌を歌い、英語でゲームすることを得意としている。その一方で、英語に限らず自分のことや意見を発表することには、自信をもてず、うまく表現できていない児童もいる。しかし、外国語活動を通して自己表現することや友達とコミュニケーションを図ることの楽しさを徐々に感じ始めている。今回の単元で扱う「丁寧な表現の仕方」については、普段の日本語のコミュニケーションで敬語をうまく使い分けることが出来ている児童が多いので、英語での丁寧な表現の学習は初めてであるが、日本語での実態を生かしてできると考える。

以上のことをふまえ、本単元では、児童がゲームなどの活動を通して、欲しいものについて丁寧な表現で相手に尋ねたり答えたりできる力を身に付けさせたい。英語においても、日本語と同じように丁寧な言い方や相手を思いやった表現方法が有効であることに気付かせ、日常生活においてもより一層生かしてほしいと考えている。そして、英語を使って主体的にコミュニケーションを図り、児童が積極的に自己を表現するとともに、友達への理解を深める態度を育てていきたい。

(3) 教材について

本時では、主に食品の単語を扱う。外来語として定着しているものや既知のものが多く、児童は抵抗なくコミュニケーションツールとして使うことができると考える。会話文は、既習の“What do you want?” “~,please.”をもとに、英語でも時と場合に応じて、より相手を意識した丁寧な言い方をする場合があることに気付かせていく。そして、ゲームを取り入れた活動では、児童が欲しいものについて丁寧に尋ねたり答えたりし、より多くの英語表現を使って友達と会話できたという達成感を味わわせたい。

5 研究主題に迫る手だて

(1) 研究仮説

〔仮説1〕オリンピック・パラリンピック教育の視点から授業の充実を図ることが、児童の視野を広げ、グローバルな社会を生きる人材となる素地を養うことに繋がるであろう。

〔仮説2〕児童一人一人が分かる授業を展開するために授業作りに授業のユニバーサルデザイン化の手法を取り入れ、ねらいの達成から逆算した授業作りを行えば、児童の学習意欲や主体的に学ぶ態度、豊かな表現力を養うことができるであろう。

(2) 目指す児童像

高学年	自他のよさを認め、主体的に相手と関わり合いながら、表現活動を工夫したり、自己の最善を尽くしたりすることができる児童。
中学年	自他のよさを感じ、相手との関わり合いを通して、目標に向かって、主体的に表現できる児童。
低学年	自分のよさを感じ、相手との関わりを大切に、楽しく表現することができる児童。

(3) 本単元におけるオリンピック・パラリンピック教育理念との関連

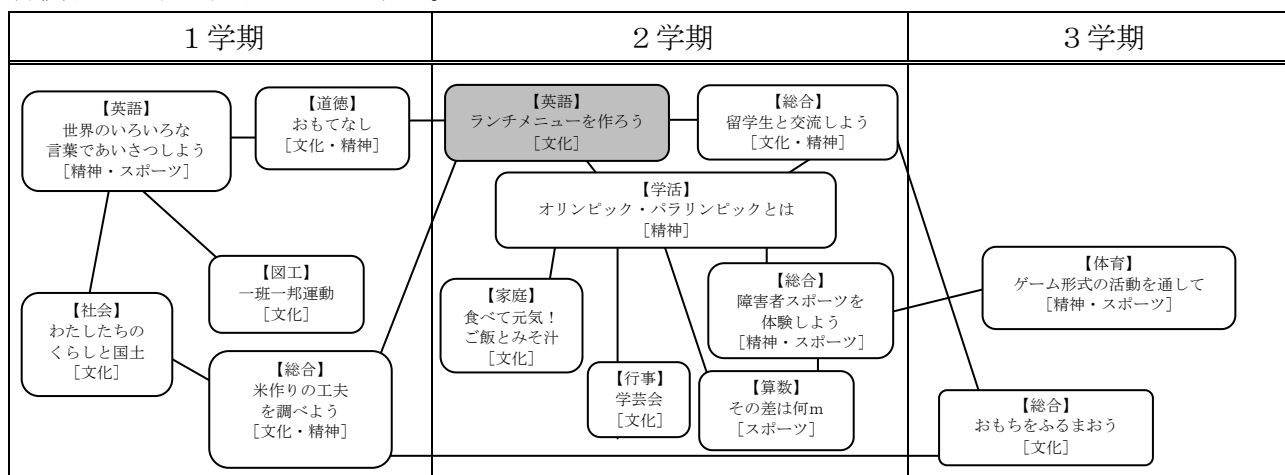
重点的に育成する五つの資質		4つのテーマ×4つのアクション (本時)
豊かな国際感覚	英語力を身に付ける コミュニケーションを図ろうとする意欲 世界の多様性を受け入れる力	文化×学ぶ

※その他には、アスリートによる体験教室や留学生との交流、水田学習を通じた餅つきなどの伝統文化的学習や米の栽培活動を行って環境に関する学習も行う。年間を通して、「東京都オリンピック・パ

「オリンピック教育」実施方針に沿った活動を意識して設定する。

(4) 他単元及び他教科との関連（他教科・他領域や日常的な指導等との関連）

高学年の目指す児童像「自他のよさを認め、主体的に相手と関わり合いながら、表現活動を工夫したり、自己の最善を尽くしたりすることができる児童」の実現ため、この題材の学習は、下表のような教科横断的な取り組みの一つとする。



1 学期の社会や英語活動では、世界のいろいろな国に目を向け、学習を進めてきた。児童は、世界には様々な言語があり、そこで暮らす人々の生活もまた多様であることを理解している。また、道徳の時間には、2020年に東京でオリンピック・パラリンピックが開催されることと関連させ、外国の方が日本に来たらどのようなおもてなしをするかについて考えた。日本文化のよさを見つめ直し、様々な「おもてなし」について意見を交流することができた。

2 学期には、外国人留学生との交流活動を行った。事前学習で相手の国について調べ、理解を深めたり、教室の飾り付けをして留学生を出迎えたりと、相手の気持ちを考えた「おもてなし」について考えた。本単元のランチメニューを提供するという活動の際にも、相手を思いやり、より意識的に丁寧な表現を用いることを大切にしたい。また、他にも全校競技車椅子体験や、アスリートを招聘した授業を予定しているが、それらをオリンピック・パラリンピック精神に関する学習を中心にしながら関連させ、充実した学びにしていきたい。

(5) 本時の指導におけるユニバーサルデザインの視点について

本時の授業計画の組み立て（ねらいの達成から逆算）

授業展開	活動の様子	授業のユニバーサルデザイン視点
ねらいの達成 (展開後半) ↓	丁寧な言い方で欲しいものを探ねたり、答えたりし、友達とコミュニケーションを図る。	①「多くの友達と発話したい」という児童の意欲を高めるために、一人一人の発話場面を多く設定し、交流させる。【共有化】 ②これまでの学習で得た英語表現を活用して、多くの友達と丁寧な言い方で欲しいものを探ねたり答えたりし、発表することができるようにさせる。【焦点化】
展開前半 ↓	本時で扱う英語表現を振り返り確認する。	①デモンストレーションにより、児童に活動の進め方をより理解させる。【共有化】 ②絵カードを黒板に常時掲示することで、児童の考えの助けとする。【視覚化】【スモールステップ化】

授業の導入	本時の課題を捉え、授業の見通しをもつ。	○本時の学習の流れを掲示し、見通しをもたせる。【視覚化】
個別支援	英語表現が分からず、発話できない。	①個別に声をかけ、何と言ったらよいか教える。 ②友達同士で教え合うよう、周りの児童に働きかける。

6 指導計画（4時間）

次	時	学習のねらい	学習活動・予想される児童の考え	評価
1	1	外国の食べ物について知る。	朝ご飯の国名当てクイズをする。 ・国によって朝ご飯のメニューが違う。 ・この国の朝ご飯はおいしそう。	・世界の料理に興味をもち、食文化の違いに気付く。 【言語や文化に対する体験的な理解】 ・国名当てクイズに積極的に参加している。【関心・意欲・態度】
2	1	丁寧な尋ね方と答え方を知る。	丁寧な会話の仕方とその意味を知り、友達とやり取りをする。 ・What would you like～?とWhat do you want?は似ている。 ・英語にも丁寧な言い方があるんだね。	・場面に応じた丁寧な表現があることに気付く。 【言語や文化に対する体験的な理解】 ・丁寧な表現を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。【意欲・関心・態度】
3	1	丁寧な言い方でコミュニケーションを図る。	丁寧な言い方で欲しいものを尋ねたり、答えたりする。 ・たくさんの友達とやり取りができた。 ・丁寧な言い方ができるようになった。	・欲しいものについて、丁寧な言い方で尋ね話したりしている。 【外国語の音声などへの理解】 ・丁寧な表現を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。【意欲・関心・態度】
4	1 本時	丁寧な言い方をレストランで使い、コミュニケーションを図る。	今まで学んだ表現を活用しながら、レストランで料理を注文する。 ・どんな食品を組み合わせようかな。 ・栄養バランスも考えてみよう。	・友達とやり取りしながら積極的に活動に参加している。 【関心・意欲・態度】

7 本時の学習（4 / 4時間扱い）

(1) 本時の目標

レストランでランチメニューを注文する活動を通して友達とのコミュニケーションを楽しむ。

(2) 展開

過程	学習活動と予想される反応 ・予想される反応	●指導上の留意点 ◆個別の配慮 ◎評価【観点】(方法)	☆ユニバーサルデザインの 視点
導入 5分	<p>1 ウォームアップをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・チャントを授業開始前から流す。 ・イングリッシュリーダーは前に出て、元気に挨拶する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>EL: Let's start our English class! Hello, everyone. C: Hello! EL: How are you? C: I'm happy! / I'm tired. / I'm sleepy. EL: How is the weather? C: It's sunny / rainy / cloudy.</p> <p>EL: What day is it today? C: It's Friday. EL: What's the date today? C: It's October 28th. EL: Let's sing the song! C: Yeah!</p> </div> <p>○ “Try Everything”を歌う。</p> <p>2 本時の学習の流れを確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; text-align: center; padding: 5px; margin: 10px 0;"> レストランでいいいなコミュニケーションをしよう </div>	<p>●笑顔で元気よく挨拶を交わすことにより、児童に授業の始まりを意識させるようにする。</p> <p>◆歌詞カードを見てもよいことを伝える。</p> <p>◆授業の流れを黒板に掲示する。</p>	<p>【展開の構造化】 【ねらいの焦点化】</p>
展開 35分	<p>3 レストランという場面を想定して、丁寧なコミュニケーションを図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単語や基本表現の発音を確認する。 ・どんなメニューがあるのかを確認する。 ・“What would you like?”を確認する。 ・交代しながらお客と店員、調理役になって、レストランで注文する。 	<p>●丁寧な会話の場であることを意識させる。</p> <p>◆料理の絵カードを黒板に掲示する。</p> <p>●栄養バランスを考えながらメニューを注文させていく。</p> <p>●31人を8つのグループに分け、お客役、店員役、調理役のローテーションで活動を行う。</p>	<p>【焦点化】</p> <p>【視覚化】</p> <p>【スモールステップ化】</p> <p>【共有化】</p> <p>【展開の構造化】</p>

	<p>店員：Hello. お客：Hello. 店員：What would you like? お客：I'd like～. 店員：O.k. ※店員は注文を受けて料理を運ぶ。 店員：Here you are. お客：Thank you. 店員：You are welcome.</p> <p>【配置図】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; text-align: center;"> <p>【 黒板 正面 】</p> <div style="border: 1px solid black; width: 100px; margin: 0 auto; padding: 5px;">調理場</div> <p>★店員役</p> <p>〈テーブル 1〉 〈テーブル 2〉 〈テーブル 3〉 〈テーブル 4〉 〈テーブル 5〉</p> <p>【 ロッカー 後方 】</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ●教師と支援員でデモンストレーションを行う。 ●店員とお客の交代などのタイミングは教師が時間を考慮して行っていく。 <p>◎欲しいものについて、丁寧な言い方で尋ねたり話したりしている。</p> <p>【外国語の音声などへの理解】 (行動観察)</p> <p>◎友達とのやり取りしながら積極的に活動に参加している。</p> <p>【関心・意欲・態度】(発表)</p>	
<p>まとめ5分</p>	<p>4 活動を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・My good job!…たくさんの友達と会話ができた。 ・Friend's good job!…言い方が分からなかったとき友達が教えてくれた。 <p>5 挨拶をする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>T: That's all for today. C: Good-bye, Hitomi & Akira. T: Good-bye. See you! C: See you!</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ●頑張ったことや授業の感想などを発表させる。 ●教師が率先して児童の具体的な活動場면을賞賛することで、児童の発言を促す。 	<p>【共有化】</p>

8 板書計画

レストランでいねいなコミュニケーションをしよう。

学習の流れ
 Greeting
 Song time
 Activity time①
 Activity time②
 Activity time③
 Review time
 Last greeting

What would you like?

I'd like～.

Menu cards

curry and rice, spaghetti,
 hamburger, pizza, etc...